

令和2年度 四国中央市文化財保護審議会会議録

1. 会議名	四国中央市文化財保護審議会
2. 日時	令和3年3月18日(木) 午後1時30分から午後2時30分
3. 会場	歴史考古博物館 - 高原ミュージアム -
4. 出席者	委員： 6名 事務局： 4名 欠席者： 1名
5. 傍聴者	なし
協議事項等	
1. 会議次第	
(1) 開会	
(2) 課長挨拶	
(3) 議事	
議題1	令和2年度事業実施状況
議題2	令和3年度事業予定
議題3	その他
(4) 閉会	
2. 会議概要	
(議題1 令和2年度事業実施状況)	
事務局より説明	
委員)	緊急発掘調査を行った「川の江馬場遺跡」については、昔は海だったというような資料を見たこともあるが海に関わるような発見はされたのか。
事務局)	今回の発掘調査では確認されていない。遺跡の状況からすると弥生時代以降は陸地だったと考えられる。
委員)	歴史考古博物館の企画展「宇摩の祈り～あんなかたち・こんなカタチ～」で展示している木喰仏については、後ろにある梵字が少し見えにくい。梵字については大きくコピーするなどして、解説をつけるほうが良いのでは。
事務局)	意見を参考に展示方法については検討していきたい。

委員) 試掘調査について成果はでているのか。

事務局) 試掘調査については、開発行為のある個所を1 m×2mで調査を行い、発掘調査等の保存のための措置の必要性の有無を確認するためのものである。位置と標高地、断面図はすべてデータとして保存している。

議事：議題1については提案のとおり承認。

(議題2 令和3年度事業予定)

事務局より説明

委員) 文化財保存活用地域計画については愛媛県で文化財保存活用大綱が策定されたが、四国中央市での取組はどのような予定で進めるのか。

事務局) 現時点では地域計画の策定について検討中である。今年度4月には、地元が文化財の保存会を立ち上げ、草刈り等の維持管理を行っている団体もある。

委員) 地元を盛上げるためには、様々なPRも必要であると考え。パンフレットの作成やSNSでの発信等も必要なのでは。情報発信を行うことにより情報提供が得られるというようなメリットも考えられる。

委員) この保存会では、地域の文化財の発掘・継承を行っていかうという動きがあり現在、会を開こうと準備を進めているところである。私もその会に参加予定であるので今の意見についても取り入れたいと思う。

事務局) 文化財保存活用地域計画について県内では松野町が唯一地域計画を策定し認定を受けている。当市においても策定を検討しているところである。開発と保存についてもバランスが大事であると考えており、今後の方向性を含め検討したいと考えている。

議事：議題2については議案のとおり承認。

(閉会後見学会を実施)